

物流を丸ごと任せる契約、サードパーティー・ロジスティクス（Third-Party Logistics）

記事のURL

<https://www.gklibrarykor.com/ja/article/9809/>

PDFレイアウトのプレビュー - 本文の一部のみ

ネットショップを始めたばかりの店主は、やがてリビングが段ボール箱でいっぱいになる経験をします。注文が増えるほど、梱包して送り状を貼り、宅配便を呼ぶ作業で一日が終わってしまいます。このとき多くの会社を選ぶのが、商品の保管から出荷までを専門の会社に任せる道です。それが「サードパーティー・ロジスティクス（Third-Party Logistics）」です。サードパーティー・ロジスティクスとは、簡単に言えば「自社と特別な関係のない外部の物流専門企業に、物流業務の一部または全部を長期にわたって任せる方式」を意味します。英語の略称をとって一般に3PLと呼ばれ、売り手と買い手の間で3番目の立場に立つ会社という意味が込められています。本記事では、3PLの意味、1PLから4PLまでの区分、3PLが担う業務、任せたときのメリットとリスク、そして良いパートナーの選び方までを順に整理します。DHLとAmazonの3PLガイドをもとに構成した一般的なEC物流の例。すべての3PLが全工程を提供するわけではなく、実際の業務範囲・料金・契約期間は個別の契約によって異なります。参考：DHL公式ガイド・Amazon公式ガイド 物流を任せる技術、サードパーティー・ロジスティクスの仕組みと実際 サードパーティー・ロジスティクスとは何か？ 物流では、商品を作ったり売ったりする会社を「荷主」と呼びます。サードパーテ